



依頼主の気持ちを、 生花を通して 伝えていきたい

なでしこカ

Power of Nadeshiko

生花が持つ力にこだわり、刻々と変わる社会情勢に即した様々な事業を展開してきた abeille (アベイル) の吉村美恵さん。植物の持つ力をさらに追求するため、10 月からは中津川市 (岐阜県) に新たにアトリエを構え新事業も スタート。生産拠点としても動き出す。

「abeille(以下・アベイル)は、皆さまのお気持ちのお届けの代役を承っています」と代表の吉村美恵さん。各種会場の装飾花、ショップやパーティのディスプレイを、植物を使った唯一無二の表現で提供している。大手クライアントからも定期的に継続的な依頼が入る。「アジア競技大会 (9 月 19 日～10 月 4 日開催)・アジアパラ競技大会 (10 月 18 日～10 月 24 日開催)」では、開会式・閉会を愛知県の生花で飾る。

生花で依頼主の心を届ける

アベイルの仕事は、単に花束を作って届けたり、空間を美しく飾るだけではなく、依頼主の感謝の心、お祝いの心など「依頼主の気持ちを届けるサポート」を行う。「生花は生きているもので、ずっと前から準備しておけないもの。だからこそ生花を通して特別感を味わっていただける、大切な人を幸せにできるものだと思います」。

アベイルの仕事象徴するのが、日産愛知販売株式会社で 2022 年から取り組んでいる、新車購入者への「感謝の花束のお届け」である。新車納車時に店舗スタッフからお客様へ花束を贈呈のセレモニーを実施している。気持ちを伝えるために「生のお花」にこだわった販売会社の担当スタッフの想いから、4 年間の試行錯誤を続けて、季



自動車展示装飾

節に合わせた新鮮な花束をお届けできる仕組みを作った。顧客様にも大変喜ばれている。

フラワーアレンジメント講師、 アトリエ開業、新製品開発も

アベイルの「他と一線を画した作品や取り組み」に注目した専門学校は、15 年前「フラワービジネス科」での講師として吉村さんを招致。現在も、フラワーウェディングの知識や、基礎技術、ブライダルフラワーのビジネスモデルなどを教えている。

企業の商品の売り上げを左右する新商品カタログでの花器や雑貨の見せ方、スタイリングやアレンジメントの仕事も請け負っている。

祝儀袋などを飾る水引 (主な生産地は長野県飯田市) の国内生産は、後継者不足と輸入品の増加で需要が減少、知人の生産者から「本当に質のよいものをわかってもらえる場が減っている」と聞いた。すると吉村さんは丁寧に作られた真っ直ぐな水引を、あえて丸めてふんわりさせてそのしなやかさを表現し、フラワーアレンジメントを引き立てるパーツにしてみた。するとこのデザインが今の時代にはまり、フラワーアレンジメントの世界で注目された。丈夫で美しい国産品でしかできないパーツの売れ行きは順調で、水引の新たなニーズの拡大と、生産の継続にもつながった。

花ビジネスの始まりは店舗として覚王山に開業し「今まで以上にお客様の思いを届ける場所」として 8 年前に大曽根駅近くにアトリエを構えた。花業も 27 年目に入り、オーダーブーケ、アレンジメントをさらに追及する場所であり、心を